あまみ

コクトくん
© Amami city

第 40 号
平成２８年３月発行

市議会だより

※平成 27 年 11 月 20 日新しい市議会がスタートしました。
第４回定例会最終本会議紬着用（平成 27 年 12 月 24 日）

第４回定例会

平成 27 年 12 月 7 日～ 12 月 24 日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒 894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町２５番８号
ＴＥＬ（0997）52-1111
ＦＡＸ（0997）52-2815
Ｅメール：gikai@city.amami.lg.jp

第４回定例会一般質問・・・・・・２P～６P
定例会の主な議案・・・・・・・・・・・・７P
請願・陳情・・・・・・・・・・・・・・・８P
常任委員会の審査概要・・・・・・８P～９P
奄美市中学生ひかり議会・・・・・・・１０P
議会の動き・・・・・・・・・・・・・・１２P

第四回定例会 一般質問

十二月八日、九日、十日の三日間で十四名の議員が市政全般について市当局に問いただしました。要約を紹介します。

（質問順に掲載）

総合戦略と総合計画の人口の考え方は

関（せき） 誠之（まさゆき）（社会民主党）

問 人口ビジョンや本市の総合戦略と総合計画の人口の考え方は、相反する施策だが、整合性はどう図られるのか

答 人口ビジョンは五十年後二割減、市総合計画は約七％増で整合性が分かりづらい部分もある。他町村からの通勤・通学等、昼間の流入を含めた人口の確保が期待でき、整合性が図られる。

問 自衛隊整備・ミサイル部隊配備の進捗状況は

答 今年度予算は㈠駐屯地の施設整備㈡用地取得㈢宿舎の整備を進めている。現時点は、駐屯地配置場所の測量調査、土質・環境調査並びに基本設計業務に着手している。来年度に掛けて土地売買契約・建物等補償契約を実施する予定である。

問 一箇所の給食センターで四千食を調理し配送するリスクに対する見解は

答 県内他市の状況は、本市の計画と同規模、同規模以上のセンターも稼働しており、充分運営していけると考えている。

その他の質問事項

○市集落周辺の砕石場の今後の対応について

○小宿区画整理事業の推進について

ミカンコミバエ種群の侵入経路について

奥（おく） 輝人（てるひと）（自由民主党）

問 ミカンコミバエ種群の侵入経路について

答 国の植物防疫所において調査中で、台風・季節風等の自然条件により東南アジアなどから飛来する事など想定され、特定されていない状況。

問 侵入防止対策について

答 テックス板・トラップの増設、通常の警戒体制の強化、誘殺時の初動マニュアルの見直し検討を含め国や県に対し強く要望していく。

問 対象範囲内の島内出荷について

答 廃棄命令を受けた対象果実は、消費の為の島内移動、島内消費、島内出荷販売は、法的に認められており禁止規制する事は困難である。

問 対象範囲外笠利地区の農家の全量廃棄について

答 笠利地区の農家から、自主廃棄の意見を多数聞いている。侵入の可能性がある島内の寄主植物の適正処分が早期根絶への近道と認識している。自主廃棄分の補償を強く要望している。

笠利地区タンカン農園

名瀬本庁舎建設計画の概要はどうか

安田 壮平（自民新風会）

問 **奄美市が合併により誕生して十年を迎えるが、その間の推移はどうか**

答 平成十八年と直近との比較で、人口約四千三百人減、小中学校の児童生徒数約九百人減、事業所数約四百七十件減少した。

問 **地方創生の枠組みの中で合計特殊出生率二・一を目指すための施策は**

答 観光業等における働く場支援と、子ども医療費助成拡充・地域型保育事業・赤ちゃん先生事業等、結婚・出産・子育て支援について力を入れたい。

問 **名瀬本庁舎建設計画の概要はどうか**

答 来年度前半に名瀬公民館を解体し、その跡地に仮駐車場を整備。現在の立体駐車場や別館の跡地に本庁舎を建設し、平成三十一年初旬までに新庁舎での業務を開始する予定。現段階では約六十億円の工事費を見込む。

問 **名瀬公民館はどうなるか**

答 「生涯学習センター」としての計画は現在見通しが立っていない。来年四月以降は暫定的に港町の紬会館七階を使い、事務所や会議室等を設けて運営していく予定である。

ふるさと納税について

津畑 誠（無所属）

問 **総務省による「ふるさと納税に関する現状調査」の奄美市の見解は**

答 総合戦略の具体的な施策として、「ふるさと納税の推進」を位置づけ積極的に推進していく。

問 **ふるさと納税寄付金の使途に「ミカンコミバエ種群侵入に係る緊急支援事業」に追加は**

答 具体的な使途や支援対象範囲など現時点では、総合的に検討していかなければならない課題が多い。

問 **「ふるさと納税講演会」の開催について**

答 今年度中に取り組む予定をしている。

問 **お礼品のカタログの作成やポイント制の導入はできないか**

答 議員の提案等参考に検討していく。

問 **「ふるさと納税推進員」の配置、「ふるさと納税推進班」の設置は**

答 現在、組織体制強化を検討している。

問 **ふるさと納税制度に係る、平成二十八年度当初予算への計上について**

答 効果的な推進方法を検討中である。

その他の質問事項

○光ファイバーの整備計画について

○名瀬朝日自治会地区における集会場設置、消防車庫設置及び消防車の配備について

世界自然遺産登録について

渡 雅之（無所属）

問 **世界自然遺産登録について**

答 核心地域及び緩衝地域の大部分が個人の私有林であり、関係者と慎重に調整中である。

問 **店舗リフォーム事業の現状は**

答 中心商店街の店舗及び出店計画の事業者に対し、五十万円を限度に二分の一を助成、また区画整理区域については補助率三分の二で上限額八十万円となっている。まだ、予算に余裕があり、申請を受け付けている。

問 **芦良・大熊間のトンネル建設について**

答 本市としても、トンネル計画は、重要な課題と認識している。県や龍郷町とも協議が必要であり、今後の検討課題としたい。

問 **ミカンコミバエ対策について**

答 大島全体で八百四十九匹の誘殺を確認したが、十二月に入り二匹と激減しており、テックス板の設置の効果が表れている。今後もヘリ及び人力によるテックス板の設置を行う。又、四月以降も要望する。

その他の質問事項

○末広・港土地区画整備事業について

○新庁舎建設について

奄美市の財政について

元野（もとの） 景一（けいいち）
（自由民主党）

問 **奄美市の財政について合併後、自主財源確保のために、取り組んでいる具体的事業及びその評価について**

答 自主財源の確保の対応は大きく二点ある。一点目が収納率の向上を図る。対策として、滞納整理システムによる全庁的な情報の共有、交換に取り組み、平成二十七年度から全国各地で利用できるコンビニ収納制度の導入他、夜間徴収の強化、さらに「みなし課税」対象者の把握等、徴収対策につながることに取り組んでいる。二点目は法人市民税や個人市民税の向上である。評価として、平成十八年から平成二十二年まで低迷傾向にあり平成二十二年以後、平成二十六年の間は、かなり改善しつつある。

問 **財政について、細部にわたって質問をした。紙面の都合上、この一部だけにとどまるが、自主財源確保のためにも、ふるさと納税の重要性を説き、奄美市も早急の対応の必要性を要望した**

その他の質問事項

○観光客等受け入れ態勢について

○住用地区・笠利地区及び名瀬地区の合併後の三地域の均衡ある発展について

ファミリーサポート事業の実施状況について

師玉（しだま） 敏代（としよ）
（自民新風会）

問 **ミカンコミバエ侵入に伴い、農家以外の損失額を試算できるのか**

答 卸小売業で一億三千万、菓子店・製造業で八千三百万、流通業者は約一億二千五百万円の影響額が試算されており、うち九割以上が郵便事業や大手宅配業者の影響である。

問 **来年度スタートする家庭的保育、小規模保育等の状況について伺う**

答 今回の募集に応じた事業者は、小規模保育が五件、家庭的保育事業が一件である。事業者全部が選定されると定員が七十二名増える見込みで、概ねニーズに即している。

問 **ファミリーサポート事業の実施状況を伺う**

答 十二月十八日にスタートする計画である。昨年度養成した子育て支援員三十六名いるがサポート以外に家庭訪問型支援員として活用する。母子会が実施している日常生活支援事業の子育て支援員もファミリーサポート会員登録を検討したい。

その他の質問事項

○シルバー人材センターの現状と雇用の拡充について

○空き屋対策について

末広港土地区画整理事業について

﨑田（さきだ） 信正（のぶまさ）

問 **末広港土地区画整理事業で「奄美らしさ」は表現されるのか**

答 「奄美らしさ」の検討段階で、通り会との意見交換会や住民説明会を開催し、平成二十七年五月十四日に答申を頂いている。地元住民、観光客や来街者に「奄美らしさ」を感じる魅力ある街並み形成にむけて取組む。

問 **小宿区画整理事業の合意形成断念の理由は**

答 現在の合意形成率は七十八％で、市のみの取り組みでは難しい。小宿の促進協議会が小宿町在住の関係権利者の合意形成を行い、それ以外の関係権利者は、市で合意形成を図り、その結果に基づき、今後の進め方等について検討したい。

問 **タラソ「奄美の竜宮」の今後の見通しは**

答 指定管理期間中のこの四年間を見ても赤字経営（累積で五千六百万円）。指定管理者からは集客増に努める内容の事業計画書が提出されている。指定管理料年間七百九十万円を予定しており、経営改善を期待している。

地場産加工品の輸送費補助について

戸内（となない） 恭次（きょうじ）（無所属）

問 地場産加工品の輸送費補助について

答 補助対象品目にはなっていないが、市として、加工品が輸送コスト助成の対象となるよう要望していきたい。

問 奄美～成田間の航路継続への取り組みと補助金について

答 昨年度同様、奄振交付金により、運賃の軽減化を図っていく。その他の取り組みについては、奄美空港の地上支援機材について、全ての航空会社の負担軽減となるよう準備を進めている。

問 LCCの路線拡大について

答 関西路線について、市としては、利便性の高い伊丹路線を安定的に確保する中で、交流人口の拡大に向けた取り組みが必要であると考えている。中部路線は、昨年チャーター機で六十二回離発着があった。沖縄路線は奄振交付金で運賃軽減が、十月よりスタートしている。又、五十席の機材へと更新が計画されている。

問 小宿区画整理について

答 小宿地区が抱えている課題解消を基本として、事業により解消を図る。

市長の政治姿勢について

川口（かわぐち） 幸義（こうぎ）（自由民主党）

問 市長の政治姿勢。小宿地区区画整理事業について

答 議員ご指摘のとおり九十％以上の合意形成について法的根拠はありませんが、区画整理事業をスムーズに進めていく上では、九十％以上の方が賛同し、事業導入するという気運を高める必要があると考えている。今後の形成状況を見守りながら、次回以降の説明会へ市長又は副市長が参加して意見を交換したいと考えており、ご理解を賜りたい。

問 大浜海浜公園のリニューアル計画について

答 大浜海浜公園のリニューアル計画については、奄美大島の観光拠点施設として、昭和五十二年度から整備を行ってきたが、近年施設の老朽化が著しいことと併せて、今後の観光交流拡大を図るため、平成二十六年度から奄振事業を導入してリニューアル整備を行っている。現在、経年劣化が激しい小浜キャンプ場へ向かう遊歩道改修工事に着手し整備を行っている。

自衛隊配置を受け入れた経過について

三島（みしま） 照（てらし）（日本共産党）

問 市長が自衛隊配置を受け入れた経過について

答 平成二十六年五月から八月の間、奄美市として様々な角度から熟慮、検証し、八月十二日に説明を受けた後、受け入れに賛成する旨を伝えた。

問 市民、議会への説明はいつするのか

答 国との協議を踏まえながら、開催時期も含めて引き続き検討していきたい。

問 末広、港土地区画整理事業の現状と課題は

答 今年度末頃から平成二十九年度にかけて道路整備工事を行い、計画どおり平成三十年度には事業を完了したいと考えている。

問 公有水面埋立て事業について、分譲計画はどうなっているか

答 土地分譲にかかる公募を平成三十年度に行うこととしており、分譲単価については、近隣路線価を基に周辺地価への影響がないように設定することとしている。

問 末広町七番の十六の土地の件について

答 土地の取得が必要になったため、土地の売却をお願いしたところ、了解をえられたので購入した。

認知症カフェの現状と課題は

橋口　耕太郎（公明党）

問　ミカンコミバエの今後の再発防止策について

答　奄美市では通常時にトラップ調査を月二回、果実調査を年二回実施している。沖縄県は、それに加えてテックス板の設置を年四回実施している。本市としても再発防止の観点から、沖縄県同様テックス板の年間を通した設置について国、県へ要望していく。

問　地域包括ケアシステムの予防給付（訪問・通所介護）の移行・多様化はどのように進めているか

答　移行は平成二十九年の四月から予定している。多様なサービスとしては①現行の訪問介護、通所介護を総合事業のみなし事業所として指定し、現行同様のサービスを提供するもの。②NPO法人などによる、緩和した基準による簡易なサービスの提供を行うもの。③地域住民やボランティアなどによる生活支援などがある。

問　認知症カフェの現状と課題は

答　現在市内三か所で設置している。認知症が特別なものという考え方が根強く、参加者へ理解をいただくことが必要である。

大規模災害時に於ける「トイレ対策」について

大迫　勝史（公明党）

問　大規模災害時に於ける「トイレ対策」について

本市で緊急時に確保できる仮設トイレの数と携帯トイレ、簡易トイレの備蓄があるか伺う

答　市としては災害備蓄用としては保有していないが、災害時にはリース会社の仮設トイレを設置する予定。数は七十基である。携帯トイレ、簡易トイレは各家庭で非常用持ち出し品として水や食糧と同じく備蓄して頂くように周知を図っていきたい。

問　国交省は十一月十九日の国連の定める「世界トイレの日」に合わせて「マンホールトイレ」の普及を促しているが本市において整備が可能か伺う

答　今年度に地域防災計画の見直しを行っており、この中で避難所の場所や避難者数、周辺の下水道の整備状況を勘案しながら検討する。

その他の質問事項

○小児医療費の義務教育終了までの無償化について

マンホールトイレ

待機児童解消に向けての進展は

多田　義一（自民新風会）

問　鹿児島ユナイテッドの試合があったが成果をどのように考えるか

答　今シーズン最多の三千七十六人が観戦し、うち島外からは、選手関係者七十名、マスコミ、観客合せ七百八十名が来島、経済効果を五千七百万円と推計している。プロスポーツの公式戦が子供たちに大きな影響を与えたことと思う。今後もスポーツ発展、レベルの底上げに、スポーツ合宿等の誘致を進めていきたい。

問　笠利地区における情報通信の環境整備について

答　奄振事業を活用した整備の可能性について協議を行っているところで、平成二十九年度からの事業実施を目標に、早期整備に向け取り組んでいく。

問　待機児童解消に向けての進展は

答　十月一日現在、待機児童は七十三人で、そのほとんどが〇歳から二歳までの子どもとなっている。地域型保育事業を導入する事により七十名、春日保育園が来年四月、三十名増で、合わせて百名あまり確保できる見通し。

第４回　定　例　会　の　主　な　議　案

件　　名	議決結果
平成 27 年度奄美市一般会計補正予算（第６号）について	原案可決
平成 27 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）について	原案可決
平成 27 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第１号）について	原案可決
平成 27 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第３号）について	原案可決
平成 27 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）について	原案可決
平成 27 年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）について	原案可決
名瀬市，大島郡住用村及び同郡笠利町の廃置分合に伴う地域自治区の設置に関する協議により定められた事項を変更する条例の制定について	原案可決
奄美市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	原案可決
奄美市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	原案可決
奄美市立母子生活支援施設ひまわり寮の指定管理者の指定について	原案可決
奄美市軽費老人ホーム奄美市立たかもり寮の指定管理者の指定について	原案可決
奄美市名瀬運動公園，奄美市名瀬総合体育館及び奄美市名瀬古見方多目的広場の指定管理者の指定について	原案可決
太陽が丘総合運動公園，奄美市笠利Ｂ＆Ｇ海洋センター及び奄美市笠利農村環境改善センターの指定管理者の指定について	原案可決
奄美市ひと・もの交流プラザの指定管理者の指定について	原案可決
奄美市健康体験交流施設の指定管理者の指定について	原案可決
奄美市住用地域特産物販売所の指定管理者の指定について	原案可決
奄美市奄美大島選果場の指定管理者の指定について	原案可決
奄美市都市公園の指定管理者の指定について	原案可決
奄美市屋仁川駐車場の指定管理者の指定について	原案可決
鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の一部変更について	原案可決
新たに生じた土地の確認について	原案可決
町の区域変更について	原案可決
奄美市市町村建設計画の変更について	原案可決
辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
土地の取得について	原案可決
監査委員の選任について　（与　勝広氏）	同　意

請願・陳情の状況

番号	件名	提出者	結果
陳情第14号	「安全保障関連法」の廃止を求める陳情	川上　真理 奄美地区労働組合総連合 議長　平　宗一郎	不採択
陳情第15号	小規模企業振興基本法に基づいた「小規模企業振興条例」の早期制定を求める陳情	奄美民主商工会 事務局長　岡田　美幸	採択
陳情第16号	「商店版リフォーム助成制度の創設」を求める陳情	奄美民主商工会 事務局長　岡田　美幸	継続審査
陳情第17号	女性差別徹廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	新日本婦人の会　奄美支部 支部長　荒田まゆみ	継続審査

※請願や陳情が採択された場合については，議会本会議で意見書としても可決し，内閣総理大臣をはじめとする国の各省庁などの関係機関に送付しております。

第四回定例会 常任委員会の審査概要

第四回定例会における常任委員会では、十二月十五日に文教厚生・産業建設、十六日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情について審査しました。

常任委員会での審査についてご紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案九件及び陳情二件（陳情第十四号、十七号）を審査し、議案九件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情第十四号を不採択とすべきもの、陳情第十七号を継続審査と決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、安全安心対策費の工事請負費千三百六万四千円の減額は、防災行政無線デジタル化改修工事費の確定によるもの、情報化推進費の委託料三百七十万円は、公民館の解体に伴い、その仮移転先であります紬会館七階への電話回線・ネットワーク等の移設業務。庁舎建設事業の工事請負費九百五十万円は、公民館の仮移転先となります紬会館七階の改修費用との説明。委員より、防災無線デジタル化事業の全体計画、運用の状況についての質疑に対し、笠利地区が平成二十五年度、住用地区が平成二十六年度、名瀬地区が平成二十七年度に整備する。全体進捗率は、九十五%。来年二月までには全運用の予定。戸別受信機の設置状況についての質疑に奄美市全体で千台を予定しており、難聴地域、避難所、消防団宅等に設置する。今年度は、名瀬地区で約五百台を設置予定とのこと。また、委員よりコンビニ納税についての質疑があり、現在、コンビニ納税でのトラブルはない、収納件数は、予想を上回って十一月末で一万九千四百二十件。利用率も上がり、利便性の向上になっているとの説明。地域自治区・地域協議会についての質疑があり、市町村建設計画も五年間延長されます。その中でそれぞれの地域の特性を生かしたものを市政に反映させたいと考えていると説明。委員より、地域自治区が無くなっても総合支所方式が維持できるのかとの質疑に対し、地域自治区の目的は、地域の意見を吸い上げることだと認識しており地域自治区の廃止と総合支所方式の存続については、直接的な関係がないとの説明がありました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案九件（第七十九号、八十号、八十一号、八十二号、八十九号、九十号、九十一号、九十二号、百四号）を審査し、議案九件を原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、臨時福祉給付金として千二百万円、障害者福祉費扶助費として八千七百九十九万七千円、ファミリーサポートセンター利用助成金として三十万円、生活保護費過年度分超過受入返還

金として、一億二千七百五十二万九千円、笠利中学校校舎天井爆裂工事費として九百三十万円、奄美体験交流館の大浴場の工事費として二百万円を計上した等の説明がありました。

ファミリーサポートセンター利用助成金について質疑があり、一月二万円を上限に利用料の半額を助成するとの説明でした。生活保護率についての質疑があり、平成二十五年度七十・九五‰、二十七年度十一月末六十七・三六‰となっており年々減少しているが、全国的にもまだ高い保護率となっておりその分析をしたいとの説明でした。奄美体験交流館の大浴場の利用者数について質疑があり二十六年度実績で二万六千八百六十一人、一月当たり二千人余りの利用者との説明でした。

国民健康保険事業特別会計補正予算については、国保事業が広域化になった場合赤字部分はどうなるかとの質疑があり、それぞれの自治体で解消することになると説明がありました。

名瀬運動公園、名瀬総合体育館及び名瀬古見方多目的広場の指定管理者の指定については、二団体の応募があり提出した書類による一次審査と公開プレゼンテーションによる二次審査を行い、六名の委員が選定基準表の評価項目により採点し、その結果、開発公社が指定管理者の候補者として選定されたと説明がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案十件及び陳情二件（陳情第十五号、十六号）を審査し、議案十件はすべて原案のとおり可決すべきものと決し、陳情二件のうち陳情第十五号を採択すべきもの、陳情第十六号を継続審査と決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、当局から奄美大島観光物産協会負担金の千九百三十万円は、地方創生先行型交付金であり、奄美大島五市町村で要望し、交付決定があった事業の奄美市分の負担金であるとの説明がありました。委員から、事業の内容について質疑があり、奄美大島版のDMOの計画策定、DMOWebプラットフォーム構築のホームページ等作成、夕日と人と集落を素材とした観光プロモーションの実施等であり、これらの事業を物産協会から委託するとの答弁がありました。

ミカンコミバエ防除事業に伴う委託金一億六千八十五万六千円及び被害に係る補償費一億五千一万二千円を計上したとの説明がありました。委員から国の防除マニュアルについて質疑があり、侵入警戒調査として通常時に県から委託を受け行う月一回のトラップ調査。誘殺が発見された場合に行う初動対応として、トラップの周囲五キロ以内において、週二回のトラップ調査、一ヘクタール当たり三枚のテックス板設置及び二キロ以内で自然に生えている果実の調査。寄生果実が見つかった後に行う初動防除として、トラップ数及びテックス板設置の増数及び一キロ以内の寄生果実の調査。今一番大きな対応となっている緊急防除は、ヘリコプターによる散布や、トラップ数のさらなる増数、果実調査及びテックス板設置の強化となっているとの答弁がありました。

【「ミカンコミバエ問題」に関する特別委員会】

ミカンコミバエのまん延防止、早期根絶と、根絶後の生産環境維持のために、これまでの経緯と現在・今後の課題を検証するものです。

・委員長　多田義一
・副委員長　奥　輝人
・委員　林山克巳、戸内恭次、橋口耕太郎、関　誠之、里　秀和、安田壮平、三島　照、師玉敏代

○平成二十八年一月十三日に、農林水産省門司植物防疫所及び奄美市農林振興課担当者を招き、第一回「ミカンコミバエ問題」に関する特別委員会を開催し、現状の取組みや課題、今後の取組みについての質疑、意見交換を行い、またポンカン・タンカン等の廃棄について現場視察などを行いました。

平成28年1月13日撮影

議会報告会を開催しました

二月五日に市内三地区で議会報告会を開催いたしました。

ご来場くださいました皆様ありがとうございました。

意見等は、議会だより次号にて紹介させていただきます。

平成 27 年度「奄美市中学生ひかり議会」

平成２７年度の「奄美市中学生ひかり議会」が１月６日，奄美市議会議場でありました。
奄美市内１２校から中学生が３０人参加して，地域の防災対策や人口減対策，観光振興などさまざまな地域の課題を市当局に質問をしていました。（主催：奄美市教育委員会）

趣旨等
（１）自分の町の現状や未来を考え，その想いや願いについて本市当局へ質問をする「模擬議会」の体験を通して，郷土を愛する心を育てるとともに，議会の仕組みや本市の現状に対する理解を深める。
（２）ひとつのテーマについて自分たちの学校の取組や中学生の考えや想いなどを発表し，意見交換を行い，今後の学校生活及び生徒会活動等をよりよくしていくための態度を育てる。

奄美市中学生ひかり議会（奄美市議会議場：1 月 6 日）

政務活動費

奄美市議会では請求のあった議員に月額 22,500 円を交付しています。（年額２７万円）
年度初めに１年分を会派又は議員に交付し，年度終わりに年間の収支報告書（領収書添付）を市長（議長経由）に提出し，残余金は返還しています。
政務活動費の収支報告書・領収書の閲覧ができます。
閲覧ご希望の方は，市議会事務局までお越しください。

あなたのまちの議会を間近で見てみませんか！！

平成２８年第１回定例会は２月１８日開会です

一般質問は，３月３日（木）から８日（火）までの４日間の予定です。
議会の傍聴は奄美市役所名瀬庁舎６階へお越しください。議会で行われる本会議や一般質問は，インターネットの生中継でもご覧いただけます。
奄美市ホームページの「奄美市議会」「会議の傍聴」「議会中継」へとお進みください。
また，過去の議会の議事録も奄美市ホームページから閲覧できます。「奄美市議会」の「奄美市議会の概要」をクリックし，「会議録閲覧」をご覧ください。

新たな奄美市議会の構成は次のようになりました

議長　竹山　耕平

副議長　師玉　敏代

議会には常任の委員会として総務企画・文教厚生・産業建設の三つがあり、市政に関する分野を分けて担当し、調査や議案審査を行います。

すべての議員がいずれかの委員会に属します。

【総務企画委員会】

主に市の市民部や企画・財政など総務部の分野を担当します。

委員長　橋口　和仁
副委員長　関　誠之
委員　里　秀和
委員　伊東　隆吉
委員　平川　久嘉
委員　安田　壮平
委員　栄　ヤスエ
委員　松山　さおり

【文教厚生委員会】

健康・福祉・環境・教育・文化などに関する分野を担当します。

委員長　渡　雅之
副委員長　元野　景一
委員　﨑田　信正
委員　大迫　勝史
委員　奥　輝人
委員　竹山　耕平
委員　橋口　耕太郎
委員　林山　克巳

【産業建設委員会】

都市整備・住宅・道路・上下水道・産業などに関する分野を担当します。

委員長　多田　義一
副委員長　戸内　恭次
委員　川口　幸義
委員　三島　照
委員　師玉　敏代
委員　与　勝弘
委員　西　公郎
委員　津畑　誠

【議会運営委員会】

議会運営委員会は、議会の運営に関することを決める委員会で、各会派や党、無所属の議員で構成されます。議会の日程等も決定します。

委員長　大迫勝史
副委員長　川口幸義
委員　三島　照、渡　雅之、関　誠之、橋口和仁、伊東隆吉、安田壮平

党派・会派別構成

党・会派等の名称	人数
日本共産党	二名
公明党	四名
社会民主党	一名
自民新風会	七名
自由民主党	六名
無所属	四名
合計	二十四名

（届け出順）

議　会　の　動　き

平成 27 年 11 月	１日	近畿笠利会「第 55 回総会並びに敬老会」（議長　於：兵庫県尼崎市）
	６日	鹿児島県建築士事務所協会第 34 回支部連絡協議会
		第 30 回国民文化祭・かごしま 2015 奄美市交流会
	９日	鹿児島県市議会議長会臨時総会及び国会議員との意見交換会（議長　於：東京都）
	１０日	議会だより編集委員会
	１１日	奄美看護福祉専門学校創立 20 周年記念式典・祝賀会
	２５日	第 2 回臨時議会
	２８日	アマチュア野球交流戦 in 奄美
	２９日	第 54 回笠利町内一周駅伝競走大会
	３０日	議会運営委員会
１２月	１日	奄美群島広域事務組合議会定例会（議長・副議長　於：和泊町）
	７日	奄美市議会第 4 回定例会開会
	８日	一般質問　－　関議員，奥議員，安田議員，津畑議員，渡議員
	９日	一般質問　－　元野議員，師玉議員，﨑田議員，戸内議員，川口議員
	１０日	一般質問　－　三島議員，橋口（耕）議員，大迫議員，多田議員
	１２日	第 11 回全九州高等学校相撲新人選手権大会開催歓迎レセプション
	１３日	第 24 回奄美市笠利まちおこしフェスティバル
	１４日	本会議・全員協議会
	２４日	最終本会議（紬着用）
	２５日	日本復帰記念の日の集い
平成 28 年　１月	１日	平成 28 年合同年始会
		ぱしふぃっくびいなす歓迎セレモニー
	３日	住用成人式
	５日	名瀬成人のつどい
		笠利成人式
	６日	奄美市中学生ひかり議会
	１０日	平成 28 年奄美市消防出初式
	１３日	奄美大島商工会議所 2016 新春賀詞交歓会
	１７日	第 49 回成人祝賀奄美市地区対抗駅伝競走大会
	２０日	鹿児島県市議会議長会臨時総会（議長　於：鹿児島市）
	２１日	鹿児島県市議会議員研修会（全議員　於：鹿児島市）
	２７日	奄美市美術展覧会交流会
	３０日	奄美大島青年会議所総会

編集あとがき

改選後初の十二月定例会は、半数の議員が「ミカンコミバエ問題」に関する一般質問をしました。生産者農家は元より、小売・卸売・流通業者等への影響損失は多大であり、支援策を含め、原因究明と再発防止等を勘案し、「ミカンコミバエ問題に関する特別委員会」を設置した。防災に「危機管理」とは、危機が発生した場合に、負の影響を最小にすることであり、いち早く危機状態から脱出・回復を図る。「リスク管理」は、想定されるリスクが起こらないよう、リスクの原因となる事象の防止策を検討し、実行に移す。「危機は必ず起こる」という大前提に立って検討を進めると載っている。今回の災害を教訓にして、初動体制マニュアルの見直しと持続的な防除体制は必要不可欠な重要施策である。ともあれ、一日も早い根絶と収束を願ってやまない。ご挨拶が後になりましたが、議会だより編集委員も新体制でスタートしました。市民の皆様に少しでもわかりやすい紙面づくりに委員一同心がけていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

（師玉　敏代）

市議会だより編集委員会

委員長	師玉　敏代
副委員長	松山さおり
委員	関　誠之
	安田　壮平
	﨑田　信正
	伊東　隆吉
	橋口耕太郎
	林山　克巳

奄美市議会ホームページアドレス　http://www.city.amami.lg.jp/amami02/amami24.asp